

## 建てるほど森を豊かに。SANUが挑むサーキュラー建築



株式会社SANUは、2019年に創業したライフスタイル提案型のスタートアップ企業である。「Live with nature./自然と共に生きる。」を理念に掲げ、都市生活者が自然の中で過ごすための会員制セカンドホームサービス「SANU 2nd Home」を展開している。建築・設計・施工・運営を自社で一貫して行う垂直統合型の体制を採用している点が特徴である。関東・甲信エリアを中心に、2026年1月時点で35拠点を運営しており、関西圏では淡路島(兵庫県)に西日本初進出の拠点を構えている。

### 「建てるほど自然を豊かにする」サーキュラー建築と森林保全の統合的アプローチ

同社は建てるほど自然が豊かになる状態を目指し、独自の「サーキュラー建築」を実践している。国産材を100%使用し、釘やビスの使用を最小限に抑えたプレハブ構造のユニット工法を採用することで、解体後の部材再利用や再資源化を容易にしている。また、サービススタート期には建設時に使用した木材量同等の植林を行うプログラム「FORESTS FOR FUTURE」を導入し、実質的なカーボンネガティブを目指す取組みを実施。拠点は高床式構造により土地への負荷を最小限に抑え、撤去時の原状回復も可能である。運営面では、1棟を会員でシェアするモデルにより資源効率を高めている。さらに、非化石証書付きの再生可能エネルギー100%の電力使用や、建設現場での廃棄物最小化、地域の空き家活用など、多角的な資源循環に取り組んでいる。

### ✓ 消費者へのサーキュラーエコノミーの伝え方

消費者とのコミュニケーションにおいて、SDGsなどの言葉を前面に出すのではなく建物の「かっこよさ」や空間の「心地よさ」を入り口とし、利用者が感性的に惹かれる中で自然と循環の仕組みに触れる構造を重視している。利用者がサービスを知る最初のきっかけは口コミや広告であることが多く、そこから利用へとつながっている。

小さな仕掛けとして、キャビン内のトイレ等に建築の循環設計や自然に関する資料を掲示し、滞在中に自然な形で知識を得られるようにしている。また、宿泊を通じて「地場の食材で料理をする」「焚き火を自分で起こす」といった自給的な体験を提供することで、消費中心ではないライフスタイルを提案している。

情報の伝え方では、メルマガやSNS等を用いながら、当社の環境に対する考え方・理念、想いを定期的に発信している。会員向けには、歩道整備や植樹などの自然整備活動を行うコミュニティイベントや、自然を愛する人が集うラウンジ「SANU NOWHERE」を拠点に、会員も参加・企画できるイベントを通じて、共に学び合う関係性を育てている。

このように、建築の背景にあるストーリーや想いなどを継続的に伝えつつ、実際の宿泊体験を組み合わせることで、利用者の意識を「環境配慮だから選ぶ」のではなく「SANUでの体験が好きだから、結果として環境に良いことをしている」という自発的な行動変化へと導いている。



### ✓ 作り手(製造事業者)へのサーキュラーエコノミーの伝え方

パートナーとなる製造事業者や職人の選定においては、「理念・思想の一致」を最も重視している。地元の作家や職人が制作したインテリアやアートを取り入れるほか、建設会社や管理会社、清掃会社など地域の事業者と連携する体制を整えている。また、会員が日々の暮らしの中で消費活動を行うことで、地域経済の循環を生み出している。新たな木造建築の施工方法に馴染みのなかった作業員に対しては、マニュアルを整備するだけでなく、現場で実際に組み立てを実演しながら理解を深めている。現場での誠実な対話を積み重ねることで、手間のかかる循環型建築の意義を共有し、協力体制を築いている。

### 株式会社SANU

〒153-0061 東京都目黒区中目黒3-23-16

TEL: 03-6555-5201

URL: <https://corp.sa-nu.com/>

**SANU**